

事務事業名		重度身体障がい者緊急通報装置貸与事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	こども福祉部	担当課	障がい福祉課	
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	障がい福祉係	担当課長名	青村裕子		
	施策	2 障がい者の社会参加と自立の推進					新規事業・継続事業		継続事業			
	基本事業	2 日常生活支援の充実					実施計画事業・一般事業		一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名						
	4026	一般	3	1	2	重度身体障がい者緊急通報装置貸与事業						
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	年度～	年度	根拠法令 条例等	佐野市重度身体障がい者緊急通報装置貸与事業実施要綱				任意的事業・義務的事業	
							実施方法		直営			
							事業分類		融資・貸与事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし				
						市長マニフェスト		該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
ひとり暮らしの重度の身体障がい者等に対して、緊急通報装置を貸与し、急病や災害時等における生活不安の解消及び人名の安全を確保。 ・貸与の申請(申請者は緊急時の状況把握のための協力員を依頼)→ 内容審査 → 貸与決定 緊急ボタンを押すと消防本部へ通報。			事業概要と同様。							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			貸与者数	人	13	11	11	11	11	11
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
ひとり暮らしの重度の身体障がい者等。			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			緊急通報装置を必要としている方	人	13	11	11	11	11	11
目的										
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
貸与することにより、生活不安を解消し、安心した生活が送れ、福祉の増進が図れる。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			貸与者数/貸与を必要としている方	%	100	100	100	100	100	100
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
自立した日常生活が送れる。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			日常生活用具及び補装具費等受給者数	件	2,687	2,704	2,800	2,850	2,900	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	50	30	94	94	94			
	事業費計(A)	千円	50	30	94	94	94			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			保守委託料	50	保守委託料	30	保守委託料	94	保守委託料	94
	人件	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1		
のべ業務時間	時間	5	5	5	5	5				
人件費計(B)	千円	19	20	20	20	20				
トータルコスト(A)+(B)	千円	69	50	114	114	114				

事務事業名	重度身体障がい者緊急通報装置貸与事業	担当部	こども福祉部	担当課	障がい福祉課	担当係	障がい福祉係
-------	--------------------	-----	--------	-----	--------	-----	--------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	ひとり暮らしの重度の身体障がい者の緊急時の連絡体制を確保するため、通報装置の貸与を開始。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	貸与件数は減少傾向。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特にない。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取り組み
現状維持	現状維持により対象外。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 生活不安が解消、社会参加と自立を推進することができるため、意図は結果に結び付く。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
有効性 評価	市が行わなければならない	理由・改善案 緊急通報装置を貸与し、緊急時の対応をすることは妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 ひとり暮らしの重度身体障がい者が、安心安全な生活を送れるようにするためである。
効率性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 ひとり暮らしの重度の身体障がい者に対して、緊急通報装置を貸与し生活不安を解消し、安心して生活ができるためである。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
公平性 評価	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事業では高齢者を対象としているが、この事業は障がい者福祉施策の一環として実施しており、他の障がい者福祉サービスと一体的に実施することにより、障がい者を支援し易いため統合すべきではない。
	*類似事務事業があれば、名称を記入	
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
総合 評価	削減の余地はない	理由・改善案 通報システムの適正な運用のため適正な単価で業務委託をしており、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
総合 評価	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案 ひとり暮らしで重度の身体障がい者に対して受益者負担を求めることは経済的に困難であり、適正化の余地はない。
	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
重度の障がい者の緊急時の連絡体制が確保できなくなり、安心安全な生活ができなくなるため、廃止はできない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			